

**小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の
進捗状況及び今後の予定について**

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

16年	4月19日	第1回WG開催
	4月28日	実証試験要領の公表
	4月28日～	5月20日 実証機関の募集
	6月1日	第2回WG開催
	6月8日	実証機関選定の公表
	6月24日～	8月6日 各実証機関において実証対象技術の募集
	8月16日～	9月22日 各実証機関において実証対象技術の選定の公表

各実証機関において実証試験結果報告書の作成作業中

(WG検討員名簿は資料1-2-2参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：福島県

中核となる地方環境研究所名：福島県環境センター
 実証対象技術：微生物共生材を使用した有機性排水の処理（1技術）
 実証試験期間：平成16年10月25日（月）～平成17年2月25日（金）

実証機関：埼玉県

中核となる地方環境研究所名：埼玉県環境科学国際センター
 実証対象技術：担体流動槽式食堂排水処理装置及び
 傾斜土槽法による厨房排水の高度処理装置（2技術）
 実証試験期間：平成16年8月25日（水）～平成17年3月3日（金）

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

実証対象技術：微生物製剤添加型ハイブリッド生物処理法及び
揺動床式生物処理法（2技術）

実証試験期間：平成16年9月6日（月）～平成17年2月25日（金）

実証機関：広島県

中核となる地方環境研究所名：広島県保健環境センター

実証対象技術：粉末凝集剤を用いた加圧浮上法、浮上油自動回収システム及び
振動フィルター併用凝集加圧浮上法（3技術）

実証試験期間：平成16年9月8日（水）～平成17年2月12日（金）

実証機関：香川県

中核となる地方環境研究所名：香川県環境保健研究センター

実証対象技術：液中膜を利用した活性汚泥方式の排水処理施設及び回転円板の
微生物膜を利用した接触酸化方式の排水処理施設（2技術）

実証試験期間：平成16年9月13日（月）～平成17年2月28日（月）

2. 今後の予定

- 平成17年3月31日（木）に、実証試験結果報告書及び今後の方針を検討する第3回WGを開催。

平成 16 年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 座長 藤田正憲 大阪大学大学院工学研究科 教授
- 岡田光正 広島大学大学院工学研究科長 教授
- 中井尚 (社)日本フードサービス協会 業務部長
- 名取眞 (社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問
- 廣田静志 大阪府環境情報センター 企画総務室 環境技術支援課長